

森建設安全大会

事故防止へ意識高揚



本気になって取り組もうと挨拶する森社長
＝鹿屋市の同社大会議室で

森建設（森義久社長、鹿屋市）は16日、鹿屋市輝北町の同社大会議室で21年1月度労働安全衛生大会を開いた。社員や関係会社から約150人が参加し、交通事故防止や

健康講話を聴講して、さらなる安全対策への意識向上を認識し安全第一作業を誓った。

大会冒頭、森社長が「一年頭にあたり事故防止の意識高揚を図る目的の大会です。今年こそは、健康第一・安全第一をスローガンに事故を起こさないよう社員一丸となって災害防止に本気で取り組み、快適な職場づくりを目指そう」と挨拶。

続いて、福丸竜市鹿屋警察署交通課長が事故実例の報告や法令講習と交通事故防止の講話を行い、飲酒運転禁止と交通安全防止を訴えた。また、種

20年度後期技能検定実技試験

45人が難関に挑戦

県職業能力開発協会が15、16の両日、霧島市国分の人材育成センターで、20年度後期技能検定実技試験（鉄筋施工）を実施した。県鉄筋業組合（中山勝美理事長）の組合員ら検定員

受検者を前に検査員らの採点が進む＝霧島市の人材育成センターで



同検定は、1級と2級に分けて実施され、それぞれ打ち切り時間を設定。手渡された図面に従って、どれだけ正確、迅速に対応できるかが合否のポイントとなる。作業態度や服装等も採点の対象となる。

最後に、参加者全員で「ゼロ炎唱和」を行い、大会を締めくくった。

加世田電気工事工業協組フェア

さらなる販売促進に

加世田電気工事工業協同組合（折田護理事長・南オリタ電設社長）は18日、南九州市川辺町の川辺町文化会館で「新春・省エネ快適ライフフェア」を開き、多くの来場者でにぎわった。



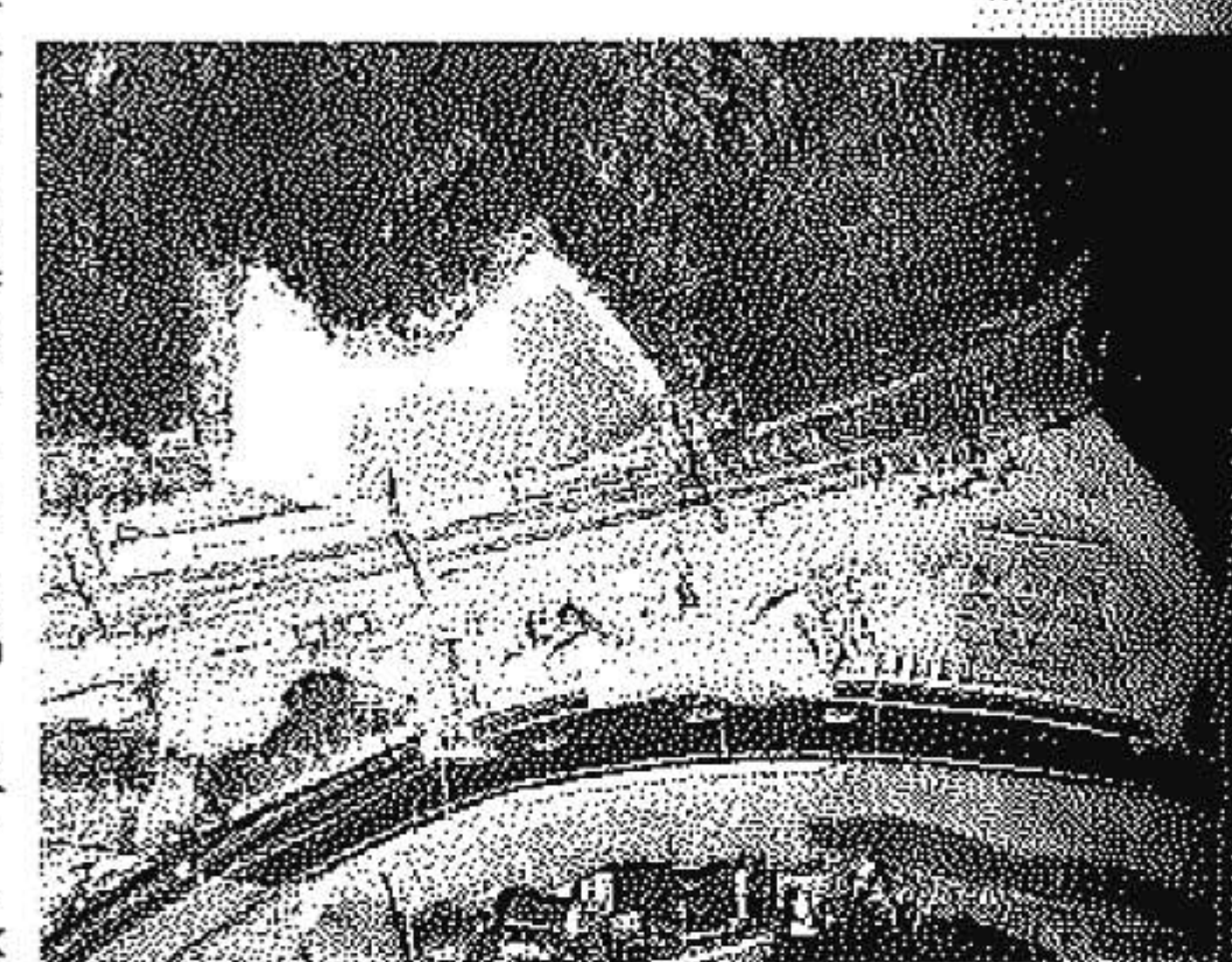
大勢の来場者でにぎわったフェア＝南九州市の川辺町文化会館で

折田理事長は「約10年近く出展参加してきたが、エコキュートのさらなる販売促進を図るため、今回から趣向を変えて実施することになった。これからも、一般ユーザーに対して利便性やランニングコストにも貢献するエコキュートのメリットを提案していきたい」と語った。

広木駅設置

3月14日開業へ

JR九州と鹿児島市では、JR広木駅の設置工事を進めている。星ヶ峯ニュータウンなどから市中心部へ向かう道路の交通渋滞の緩和および地域の通勤・通学者などの利便性の向上を図る。開業は3月14日予定。

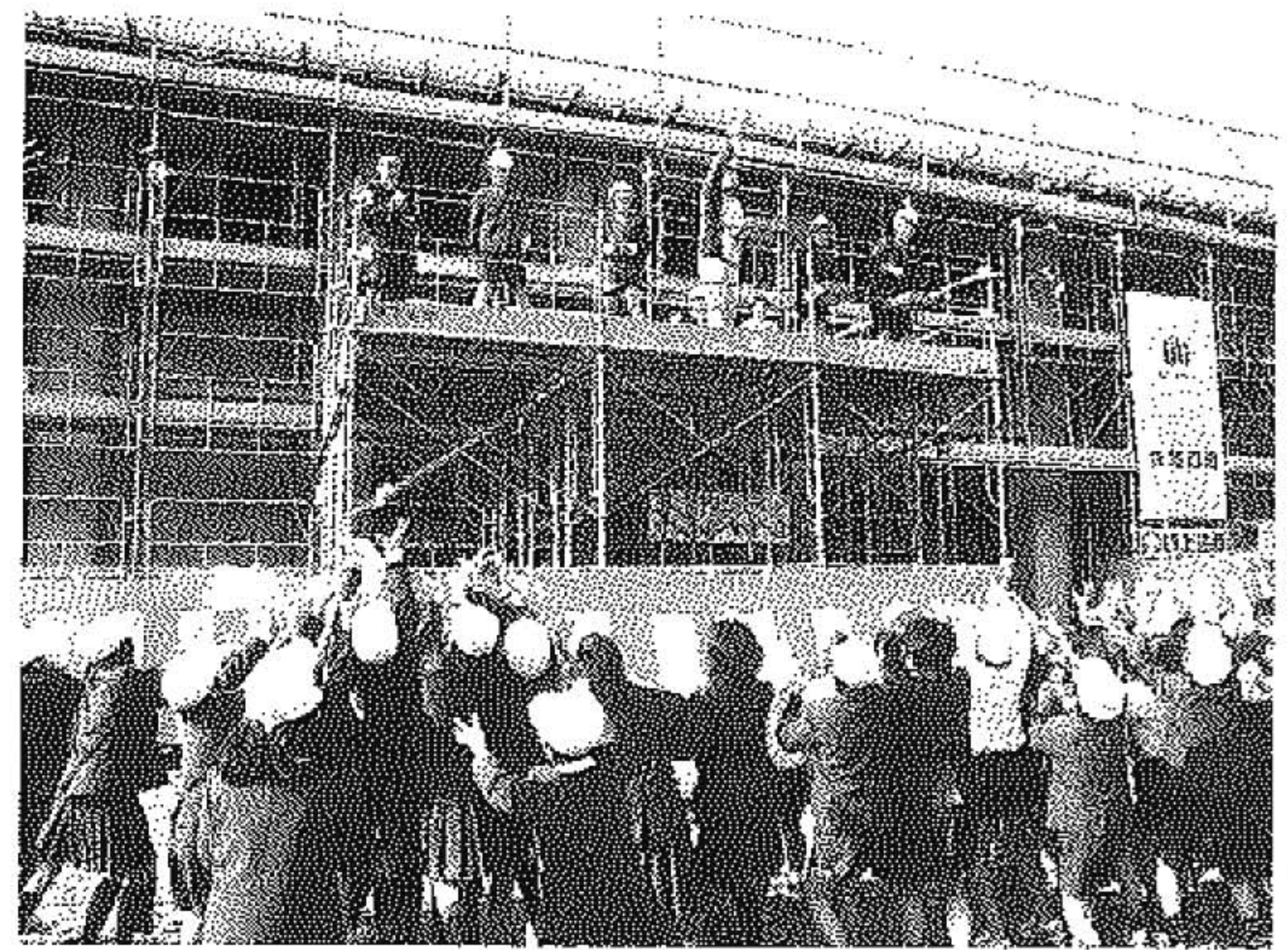


設置場所は、鹿児島市田上町。駅体制は無人駅で、停車本数は上下82本（上り41本、下り41本）となっている。

育英小増築で上棟式

児童らもちまき体験

薩摩川内市発注の育英小学校教室棟増築（建築本体）工事を請け負っている橋口組（橋口知章社長）は13日、同小学校において全校児童立



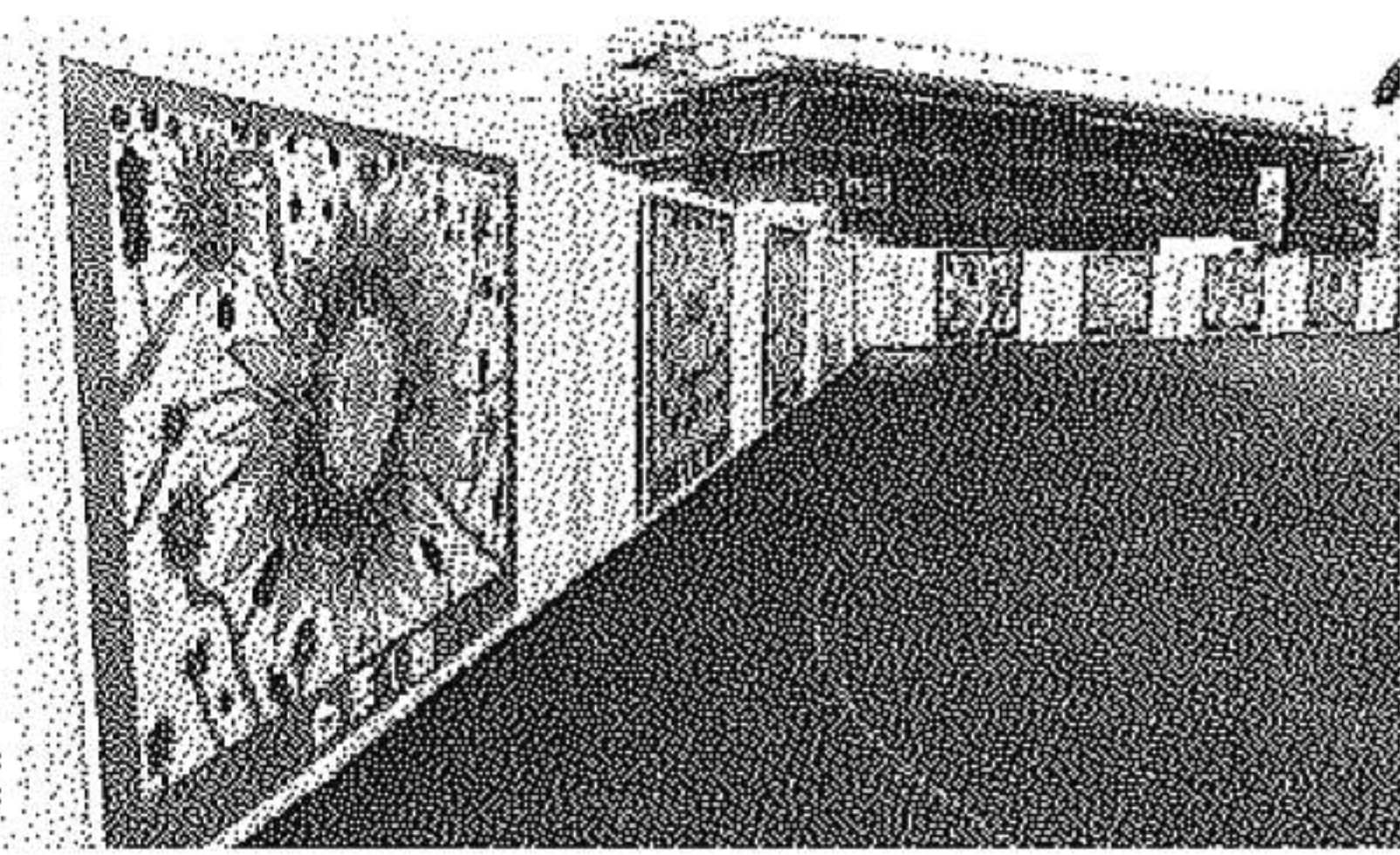
ち会いのものと上棟式を行い、無事故無災害での竣工を祈願した。写真。今回の上棟式は、橋

口社長が「最近では上棟式を体験していない子供も多い。子供たちと一緒に思い出づくりをしよう」と、同じく給排水衛生設備と電気設備を受注している（株）宇都組（宇都一社長）と（株）田原電設（神宮司守人社長）にも協力を仰いで実施。

上棟式には1年から6年生まで全校児童および教職員が参加。最初に屋上で施工関係者や同市教育委員会、出水新一郎校長、児童代表らが四隅に酒や塩、米などをまき天地四方の神を拜んだ後、型枠搬出入用の足場をステ

ージに見立ててもちまきを開始した。ステージ下には1年生から順に学年ごとに入れ替わりで行われ、6年生が交代で紅白もちやお菓子をまき始めると、児童らははしゃぎながらわれ先にと拾い集めて帽子を袋代わりにしたり制服のポケットに入れていた。

一緒にもちまきをした出水校長は「学校での上棟式は珍しい」と驚いた様子で、「建設途中の校舎内部の見学まで実施してもらった。子供らにとってもより一層思い出も深まり、今後の安全意識の高揚にもつながる」と謝辞を寄せた。



仮囲いにパネル展示も

また同社は、全クラスからイラストを募り、それを縦2m×横3mのパネルに引き伸ばし

末吉建設山神祭

無災害と繁栄を祈願



安全意識の高揚を図った山神祭＝鹿児島市の本社で

末吉社長は、「社員一人ひとりが安全意識を高めることが災害防止につながる。今年1年間、安全第一を基本に気を引き締めて取り組んでほしい」と話した。

の本社で恒例の山神祭（やまかんまつり）を行った。出席した社員約30人は、無事故無災害と企業繁栄を祈願した。山の恵みに感謝し安全を祈願する山神祭は、古くから建設業や木材業などで行われてきた習わし。同社でも災害ゼロ